

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成25年4月11日 (2013.4.11)

【公開番号】特開2013-7314(P2013-7314A)

【公開日】平成25年1月10日 (2013.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-002

【出願番号】特願2011-140062(P2011-140062)

【国際特許分類】

F 0 2 D 41/34 (2006.01)

F 0 2 D 41/06 (2006.01)

F 0 2 D 41/32 (2006.01)

【F I】

F 0 2 D 41/34 H

F 0 2 D 41/06 3 3 0 A

F 0 2 D 41/32 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月25日 (2013.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

大量の P M の排出を改善するには、点火時期より前に液膜を気化させることが必要となるが、液膜を気化させるには、エンジン壁面温度を高温化すれば良い。従来技術では、排気触媒の早期活性化は可能であるが、燃料が燃焼する際に放出する熱の大部分を触媒昇温に使用するため、エンジン壁面温度の早期高温化ができず、P M を削減できないという課題があった。このため、内燃機関の冷機始動時において排気触媒の早期活性化とエンジン壁面温度の早期高温化を両立する手段が必要であった。